

令和三年
新年号

vol.59



編集・発行：自由民主党・無所属 大阪府議会議員団 <http://jimin-osaka.jp>
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目1番22号 TEL (06)6941-0217 FAX (06)6944-2244



自民党・無所属 大阪府議団だより

令和2年度 都市住宅常任委員会において

奥田えつお議員が

南海本線・高師浜線連続立体交差事業や近畿大学医学部等の移転に伴う泉ヶ丘駅前地域の活性化、ビュースポットおおさか、大阪港湾局の設置などについて質問をしました。

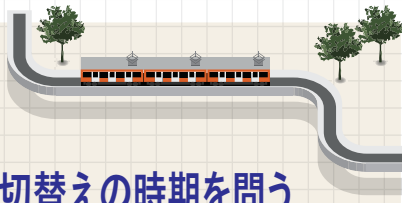


泉大津市・高石市
及び泉北郡選出

Profile

昭和30年5月 高石市生まれ。昭和53年3月 近畿大学商経学部卒。平成7年4月 高石市議会議員初当選、高石市議会議長。近畿大学校友会常任幹事、高石市少年軟式野球協会副会長、高石市柔道連盟名誉会長。平成27年4月 大阪府議会議員初当選。都市住宅常任委員会副委員長、健康福祉常任委員会委員、都市住宅常任委員会委員長、警察常任委員会委員、環境農林水産常任委員会委員長。自民党・無所属大阪府議会議員団 副政調会長。

南海本線・高師浜線 連続立体交差事業



高架化工事の進捗状況と高架切替えの時期を問う

Q. 奥田議員

高石市域を通る南海本線・高師浜線の連続立体交差事業が完成すると、市街地の一体化が図られるとともに踏切での交通渋滞や事故が解消されることから、住民は早期の事業完成を望んでいる。現在、南海本線上り線で高架化工事も終盤を迎えているが、その進捗状況と高架切替えの時期を問う。

A. 都市交通課長

高架構造物などの土木工事が完了し、現在、レール等を整備する軌道工事、電気信号施設工事や駅舎工事を進めており、上り線の高架切替えは令和3年5月頃を予定しております。

バス代行輸送に変更した理由と経緯は？

Q. 奥田議員

高師浜線の高架化の説明会が沿線住民に行われ、高架化工事は当初の仮線方式から高師浜線を運休しバス代行輸送方式に変更で、運行ルートや停留所などの説明があったと聞いている。バス代行輸送に変更した理由と検討の経緯は。

A. 都市交通課長

バス代行輸送による施工が従来の仮線施工に比べ、作業効率が向上することから工事期間を約2年短縮できるため騒音等の負担の軽減や、踏切の除却で交通渋滞の解消が可能となること、駅前広場や側道整備等に早期に着手できるなどの理由から、バス代行輸送を用いた施工方法に変更しました。

ビュースポットおおさか

世界に誇れる大阪の魅力ある景観を眺めることのできるビュースポットの発掘・発信

今年度の募集状況

Q. 奥田議員

昨年度の第1回募集で選定された28ヶ所のビュースポットが府のホームページ等での情報発信など様々なPRに取り組んだと聞いている。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、一連の取り組みは難しかったのではないかと。第2回募集の状況はどうか。

A. 建築企画課長

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、第2回募集を春から秋に変更し(9月14日から12月18日まで)、府内市町村、関係団体・民間企業の連携協力により広く募集を呼びかけており、12月7日現在で130件の応募をいただいています。



奥田議員の要望

～人が訪れる仕掛けづくりを積極的に～

高石市(「高石の工場夜景を眺める市道高砂1号線」がビュースポットに選定)を含む全国11の工場夜景都市が『全国工場夜景カード』をツアー参加者に配付しているが、例えば『ビュースポットカード』の作成やスポットを巡るルートづくりなども効果的ではないか。人が訪れる仕掛けを意識した取り組みを要望する。

近畿大学医学部等の移転に伴う 泉ヶ丘駅前地域の活性化



開設予定(令和6年4月)に向けて現在の状況は

Q. 奥田議員

近畿大学医学部等の移転は泉北ニュータウンの再生、南大阪地域の発展につながると期待しており、これを最大限生かし、泉ヶ丘駅前地域のまちづくりを集中的、連続的に進めるべき。近畿大学医学部等は開設予定(令和5年4月)が1年延期になり、令和6年4月と聞いているが、現在の状況は。

A. 住宅まちづくり部 副理事

近畿大学による地元住民への説明会など、開発行為に関する手続きが順次進められ、現地では住棟の撤去工事が今月中に完了。今後は雨水本管の移設や仮緑道の整備など、令和6年4月開設に向けた準備が進められています。

泉ヶ丘駅前地域の活性化へ今後の取り組み

Q. 奥田議員

開設に向けて、立地のインパクトを活用した、泉ヶ丘駅前地域のより一層の活性化に取り組んでいく必要があるが、今後を問う。

A. 住宅まちづくり部 副理事

堺市が令和3年4月に府から大型児童館ビッグバンとその後背地の無償譲渡を受け、子どもも親も楽しめる拠点の検討や泉ヶ丘駅南側では南海電鉄による駅前商業施設の再整備計画、駅北側にはUR都市機構が建替事業に着手し、ヘルスケア産業等の誘導等の取り組みが進められています。

大阪港湾局の設置について



大阪港湾局設置に際しての 地元自治体への説明状況と府営港湾の活性化

Q. 奥田議員

これまでも大阪港湾局の設置に向け、地元自治体に対して丁寧な説明・周知を要望してきたが、10月1日の発足に向け、どのように説明・周知してきたのか。

A. 計画調整担当課長

地元自治体に対して昨年8月には大阪港湾局の設置方針、12月には設置議案の可決など経過をその都度、説明。本年9月に「大阪」みなとビジョン(素案)」を作成時にも説明し、意見を踏まえて11月に公表。業務の開始を地元自治体の広報誌に掲載など周知にも努めています。

クルーズ船誘致の現状について

Q. 奥田議員

クルーズ船を取り巻く環境は順風満帆であったが「ダイヤモンドプリンセス号」の新型コロナウイルス集団感染により期待感や憧れは地に落ち、失われた信頼を取り戻すため全力の取り組みが求められる。クルーズ船における新型コロナ対策と現在の動向は。

A. 利用促進担当課長

国及び関係団体においてクルーズ船と受入港の安全安心の確保をめざし、感染防止対策に関するガイドライン等を公表、各主体が対策を行うとともに発生時の対応訓練など運航再開に向け取り組み、ようやく横浜を皮切りに11月より国内クルーズは再開の動きとなっております。